

報 廣 しばた

2010 1 JAN
since 1951 No. 579



西住小学校の1年生と担任の先生



新年あけましておめでとうございませう。

皆さま、お元気で新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

一昨年のリーマンショック以来、2年目を迎えても一向に景気回復への兆しは見えてきません。それどころかデフレの進行でさらなる景気の悪化が懸念されております。

そうした中、柴田町は合併問題に決着をつけ、自立の道を選択し、未来に向けて着実に歩み始めました。視界が見えない厳しい船出となりましたが、皆さんの協力もあって「住民自治によるまちづくり基本条例の制定」「観光物産協会の設立」「手づくり図書館設置に向けたボランティア活動の展開」など、参加と協働によるまちづくりが起動していることを大変心強く思っております。さらに、財政再建プランの成果や相次ぐ工場の新設や増設、白幡橋のリニューアルや四日市場排水機場の完成など懸案事項が解決され、やっと柴田町にも希望の光が見えてまいりました。

こうした柴田町の勢いをさらに加速していくために、今年

未来志向のまちづくり コンパクトシティ構想の 具現化に着手

将来の都市ビジョンであるコンパクトシティ構想の具現化に向けた取り組みに着手してまいります。

柴田町が目指すコンパクトシティとは、人口減少、資源の枯

新年のあいさつ



柴田町長
滝口 茂



今後10年間の計画に盛り込む主な事業

1 子どもたちの可能性を引き出す政策

- (1) 船岡中学校体育館の新築 (平成 21 年度着手)
- (2) 槻木中学校校舎の新築 (平成 23 ~ 25 年度)
- (3) 大型の児童センターの建設 (平成 24 年度)
- (4) 認定子ども園の建設

2 先進的な健康福祉政策

- (1) 包括支援センターの拡充 (平成 22 年度)
- (2) 特別養護老人ホームの新設 (平成 23 年度)
- (3) デマンド型タクシーの運行 (平成 23 年度)
- (4) 里山トレッキングコースの整備

3 快適な生活環境の整備

- (1) わんぱく子ども公園の整備 (平成 24 年度)
- (2) 館山と白石川とを結ぶフラワーパークの整備
- (3) シームレスな道路網の整備
(特に、新栄通り線延伸、富沢・入間田幹線道路の整備)

4 心豊かな文化・スポーツ振興策

- (1) 柴田町民体育館のリニューアル (平成 24 ~ 25 年度)
- (2) 太陽の村へのパークゴルフ場の整備
- (3) 本格的な図書館の建設

5 地域の力を引き出す政策

- (1) まちづくり推進センターの設置 (平成 22 年)
- (2) 産直交流館・農村レストランの整備支援
- (3) 観光物産館の新築 (平成 22 年度)

渇や地球温暖化といった問題やわが国の投資余力の減少を見据え、都市のコンパクト化やこれまでの都市基盤の有効活用と新たな都市機能の集積を図りながら、歩いて暮らせる生活圏の中で、コミュニティの再生や安全安心のまちづくりを目指そうとするものです。従来の行政主導のまちづくりから、行政、住民、NPO、企業などとの協働のもとに「訪ねてみたい」「買ってみたい」「交流してみたい」そして「住んでみたい」と思われるような魅力的なまちをみんなで作築し、育てていきたいと思っております。

柴田町のコンパクトシティは、船岡駅、槻木駅、北船岡周辺、新栄通りと大沼通りの交差周辺の4つの拠点を中核とし、近接した農村空間とをネットワーク化した、多極分散型の都市構造を想定しています。

訪ねてみたい

まちづくり

誰でも一度は行ってみたいと思いが描くのがヨーロッパの美しい街並みです。統一された歴史的な家並みや花で飾られた窓、

やすらぎのある広場や路地などに魅了されます。この美しさは長年そこに住む人たちの誇りや愛着によって守り受け継がれてきたものです。

柴田町でも白石川の一目千本桜は先人が植えたものであり、NHKの大河ドラマ「縦ノ木は残った」の放映を契機に始められた菊人形まつりも、今はみやぎ大菊花展柴田大会として、菊の会の人たちの手で受け継がれています。

人を引きつける魅力的な柴田町ならではの都市空間を整備するためには今年花をキーワードに、白石川と館山を結ぶ回遊ルートの調査やモデルガーデンづくりを盛り込んだ花咲山構想の具体像を示し、「花のまち柴田」のブランド化に着手してまいります。

買いたい気持ちにさせる

もぐもぐ

町の特産品として、ぜひたく味噌やゆず酒があり、最近ではシクラメンやカーネーション、クリスマスローズなどの鉢花の出荷が盛んになってきました。さらに、太陽の村のせいいたく味

噌ラーメンも人気を博しています。しかし、全国展開をするにはまだまだ力不足でありますので、さらに地域特産品のブランド化に向け農商工が連携した中で、売れ続ける仕組みづくりや推進体制を整備してまいります。

新たに立ち上がった観光物産協会に、生産から流通販売に至る一貫した販促活動や情報発信に努めていただくとともに、町としても館山への観光物産館の建設や産直グループのネットワーク化や農村レストランのモデル事業を通じて、地域の資源を生かした地方発信型のビジネスモデルを支援してまいります。

観光・交流による

まちづくり

今、都会では味わうことができないふるさとの風景や旬な食べ物、その土地に住む人たちの生活文化に触れ、交流するツアーが人気を集めています。

こうした流れを好機ととらえ、観光客がまちを歩きながら町民との交流を深め、四季折々の行事や祭りに参加できるような観光まちづくりが必要です。

町内や里山の魅力を知っても

らうための、まち歩きマップの作成や里山ハイキングコースの整備、個人の庭を一般開放してもらおうオープンガーデン運動を展開し、人と人との交流、地域間交流、都市と農村との交流を活発にするとともに、新たな出会いや刺激の中から柴田町の魅力の再発見や新創造につなげてまいります。

住みたいまちづくり

まちに人が定住するための条件とは、経済活動や雇用の確保がなされ、安全で安心できる暮らしが保証されていることです。

これまでも町では企業誘致や地元産業への支援や生活環境の整備、教育文化や福祉の向上に努め、仙南の中核都市として牽引力を発揮してまいりました。今後、さらに人口増加や集積力を高めていくためには、住みやすさや心地よさなど、質の高いまちづくり、まち育てを実施していく必要があります。

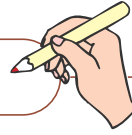
町は今年度、平成23年度から32年度までの「第5次柴田町総合計画」の策定に着手します。将来の都市ビジョンであるコンパクトシティ構想から環境問題、

福祉や子育てに係るあらゆる分野でワークショップ方式を活用した住民参加による計画づくりを進めてまいります。計画の実践に当たっては、行政、住民、企業などが共に力を合わせ、住んで良かったといえるまち、ほかの地域の人たちが住みたくなるようなまちにつくり替えてまいります。

最後に、世の中が混沌とする中で柴田町が今後とも元気で持続的に発展していくためには、行政が全てまちづくりのお膳立てをすることは困難になっており、多くの町民が楽しく、まちづくり・まち育てにかかわることが大切です。地域での人と人との絆やコミュニティがしっかりと築かれ、交流と連携の中で地域の力が発揮されるまちこそ、将来にわたって元気であり続けられると思います。

今年はいよいよ「住民の参加と協働」「自立と共生」「ゆとりと豊かさ」に基づく未来志向のまちづくりがスタートします。皆さんと共に力を合わせ魅力あふれるコンパクトシティ柴田の構築に向け全力投球してまいりますので、何とぞよろしくお願いたします。

危険な場所をみんなでチェック



地域安全マップ

作製指導者養成講座

まちづくり推進課では、宮城県共同参画社会推進課の協力をいただき「地域安全マップ作製指導者養成講座」を開催しました。地域安全マップとは、「犯罪が起きた場所」を示すのではなく、「犯罪が起こりやすい場所」を表示したもので、実際に街を歩く（フィールドワーク）ことで、どのような場所が危険なのか理解し、また地域を知ることでもあります。

この講座には、町内の交通指導隊、防犯実動隊、子ども会育成会、見守り隊だけではなく、大河原町、名取市、利府町からも参加いただきました。

皆さんにもマップを作ってもらえるように、講座の様子を紹介합니다。安全・安心な生活に役立ててください。



犯罪が起こりやすい2つの基準

「入りやすい」「見えにくい」

**犯罪を実行できる機会がなければ
犯罪は起こらない**



小宮 信夫氏

(立正大学文学部社会学科教授)

中央大学法学部法律科卒業。ケンブリッジ大学大学院犯罪学研究科修了。法務省、国連アジア極東犯罪防止研修所、法務総合研究所などを経て現職。地域安全マップの考案者として全国で指導を行なっている。

今日は地域安全マップを作るのですが、地図作りを通して効果的な犯罪対策を考えてもらいます。皆さんは、どうして天気予報を見るのですか。天気によつてなんらかの被害を被るかもしれない。でも、天気予報さえ見れば、その被害を回避できるかもしれない。天気予報を見て、明日の行動、明後日の行動を変えているはずなのですよね。こういうのを「予測」というのですけど、予測できれば、そういういろいろな被害を予防できるのです。

いろいろなところで予測しようという活動を人間はしているのですけども、予測することを全く考えていない分野が「犯罪」です。なぜか犯罪だけは「予測が必要だ」「予測しよう」ということは思っていないというのが現状です。防犯ブザーは持ったほうがいいです。護身術も知らないより知っていたほうがいいです。でもそれは、本当に最後の手段であつてできれば使わないほうがいい。使わない方法を知るべきです。それは何かと言つたら

「予測」です。

世界の常識は「犯罪機会論」というものです。これは犯罪の機会に注目するということです。犯罪者は、なぜ犯罪をするかという犯罪の機会があるか、ないかを考える。もつと簡単な言葉でいうと「犯罪が成功しそうな状況」のことです。動機がある人でも原因がある人でも、機会が無ければ犯罪はしないのです。動機があり原因がある人でも、目の前にそれが成功できるというチャンスがなければ犯罪までは、たどり着けないのです。この「機会」は動機であろうが無かるうが「機会」を減らすことは、どんなときでもできるのです。この「機会」さえ無くせば、動機や原因をいじらなくても犯罪は起こらないのです。これが「犯罪機会論」です。

では、どうやつてこの機会を無くしていくかです。それには予測する必要があります。いつたい犯罪の機会というのはどこにあるのか予測です。これが分からなければ機会を減らそうとしたつてどうしようもありません。

地域安全マップ作りというのは2つの基準があります。

「入りやすい」と「見えにくい」です。

「入りやすい」と「見えにくい」このような場所があるか見なければ良いわけです。そういう場所があれば犯罪者はその場所に現れるわけです。予測できればそこに行かなければいいわけです。行くのであつても何人かで行けばいいし、さらにもつといいのは条件を無くしてしまう。安全マップというのは、その場所を暗記するのではなくて、この景色、風景で判断してください。景色を読む力です。犯罪者が好む景色かどうか気付けるかどうかです。想定する犯罪は何でもいいです。子どもが被害に遭う駐車場は大人も被害に遭います。つまり車上荒らしや窃盗の多い駐車場では子どもも被害に遭う駐車場だということです。子どもが連れ去られるような道はひつたくりも多い道なので。なぜならば、犯罪者の基準は同じなのです。

「入りやすい」「見えにくい」このモノサシしか持っていないのです。そういう意味で景色を読むということを入れて回つただけだかと思えます。

1

安全・危険な場所を 理解しよう

― 入りやすい場所・
見えにくい場所が危険です ―



キーワードを確認。誰もが「入りやすく」誰からも「見えにくい」場所は、犯罪者も「入りやすく」、犯罪が「見えにくい」のです。

例えば

- 柵などの仕切りがない
↓ 入るのにじやまになる
ものがない
- 高い塀や木が続いている
↓ 見るのにじやまなもの
がある
- 落書きが多い
↓ 人がいなくて見えにく
い
- ごみが捨てられている
↓ 近所の人たちの関心が
ない

危険な場所が分かったら、フィールドワーク（街歩き）のためのグループを作ります。1つのグループは、5人から7人くらいで、班長、副班長、地図係、写真係などの担当を決めます。

2

フィールドワーク(街歩き)に出発

― 地域を回って調べよう ―



さあ、みんなで出発です



ここは、どうでしょう？みんなで考えています。



マップ用に記録写真を撮ります。



マップ作りは、「危険な場所とはどんな所なのか」に気付き、被害に遭わないために危険な所を見分ける力を身に着けることが目的です。どんな所が「入りやすい場所」「見えにくい場所」なのか、みんなで確認しながら歩きましょう。

必ずグループで歩き、カメラで撮影する時は、人の顔や家の表札、車のナンバーなどは撮らないようにしましょう。また、近くの人にインタビューしてみるのもいいでしょう。



「ガードレールが無いと危険ではないか」「住宅側を歩くよう指導が必要」など多くの意見ができました。

3

マップを作ろう

—調べた情報で分かりやすく、おもしろく—



「写真はこう貼ると見やすいね」「ここは、この色のほうが目立つと思う」皆さん楽しく作業しています。



いよいよ作製に入ります。

いよいよマップ作りです。大きな模造紙、色紙、えんぴつ、マジックペン、はさみ、のり、付せん紙などを用意します。

まずは、道路や目印になる公園、大きな建物など調査した地区の地図を書きまします。細かい地図を書く必要はありません。マップ作りは「景色を読む力」を伸ばすものです。

次は、撮った写真にコメントを書き込んで地図に貼りましょう。人の顔や家の表札、車のナンバーが写っている場合は、マジックなどで消してください。

コメントは「危険な理由」や「安全な理由」を書き、色分けすると見やすくなります。



マップ作りは、コミュニケーション能力や地域への関心も高まります。

指導していただいた小宮教授からは「この地域は、安全な街だと思えます。地下道では、落書きが消してありましたし、落書きを防止するため子どもたちが絵を描くなど犯罪を防止するものがないかありました」との感想をいただきました。

4

安全マップが完成

—マップを見ながらみんなで発表しよう—

最後は、マップ作りで感じたことや発見した場所などをグループごとに発表しましょう。

写真とコメントを見て景色を読んだということ、そしてこの景色を見た人が「こういう理由でこの景色が危ないのか」「自分の家の周りにもこういう景色があったので気を付けよう」と思わせることができれば、良いマップということ。



参加者の声



柴田町交通指導隊
石渡 朗さん

子ども会育成会など子どもたちと一緒に地域安全マップを作る機会があれば、ぜひお手伝いして学んだことを伝えたいと思います。



西住地区子ども会育成会
西根 秀雄さん

今回の参加者は、大人だけでしたので、今後作るときは、子どもたちから見た「安全・危険な場所」を取り入れたいと思います。

ほかにも

○これまでの地域の見る目を変えてくれました。地域を巡視するときに、場所の立地条件に気を付けていきたい。

○防災マップは町内会に作製してあるが、安全マップはないので作りたい。
○地域の安全・安心を守るためマップを作製して「見守りタイ」の皆さんに配布したい。

今日学んだ視点を 地域の皆さんに伝えてください



立正大学犯罪社会学研究会
会長 小熊亮輔さん

今回の講座では、立正大学犯罪社会学研究会の皆さんが各班のリーダーとなってフィールドワーク、マップ作製について指導をいただきました。

会長の小熊亮輔さんからは「新しい視点を持つてもらい、それを理解していただいたのが嬉しいです。今までは知らなかったことだと思います。私も大学に入り、先生の話を聞いてこのような活動をさせてもらっています。今日、受講した皆さんがこの視点や活動を家族や地域の子どもたちに伝えてもらえば、より安全な地域になると思います」とメッセージをいただきました。



同じく犯罪社会学研究会の皆さん。左から金森将樹さん、松本拓也さん、東菜美さん。前日から準備を進めてくれました。

こんにちは

地域包括支援センター

です



介護家族の会「よつば会」が設立

柴田町で初めて介護家族の会「よつば会」が設立され、23人の会員でスタートしました。

「よつば会」は、介護をしている方、介護を経験した方が会員となり、介護家族同士が意見をもち寄り、思いや悩みを共有できる会です。介護する方の心と体の健康について一緒に考え、

「本人も家族も安心できる介護」を目指します。

介護を家族の問題として抱え込む古い考えから脱出し、一人で悩まず、肩の力を抜いて、自分の時間を持ったり、リフレッシュしたりすることの大切さを感じていただきたいと思っています。

皆さんの意見を聞かせていただき、家族の介護について一緒に考えてみませんか？
入会お待ちしております。



介護についてみんなで話をしましょう。今後は研修会なども予定しています。

問い合わせ先
地域包括支援センター
(健康福祉課内)
☎ 55-2159



「認知症を学ぶ」講演会を開催

12月に、「認知症・ご本人が安定できる接し方」地域で安心して暮らせるために」と題して認知症を学ぶ講演会を開催しました。

講師の関東澄子さん(社団法人認知症の人と家族の会宮城支部代表)は参加者50人に「認知症の人が形成している世界を理解することで認知症の方の気持ちは安定する。よってお世話や介護の負担も軽減される」と接し方について話をしました。

参加者からは「認知症に対しての知識があれば別な接し方があったのではないかと反省している」「相手を治そうと思わず自分が変わらなければと改めて気付いた」などの感想をいただきました。

認知症は、加齢とともに発症しやすくなり、65歳以上では12人に1人、85歳以上では4人に1人が、その症状が現れるといわれ、誰にでも起こりうるありふれた病気で、環境が変わると進行すると言われています。みんなで協力し合い、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指しましょう。

地上デジタル放送説明会

総務省では高齢者向けに、地上デジタル放送を楽しむための地デジ説明会（無料）を開催しています。会場では、可能な限り個別のご相談にも応じていますので、お近くで開催される説明会に、ぜひ、ご参加下さい。

会場	日時	会場	日時
船迫公民館	1月8日(金)10:00～	農村環境改善センター	1月13日(水)10:00～
北船岡集会所	1月8日(金)13:00～	葉坂構造改善センター	1月13日(水)13:00～
土手内集会所	1月8日(金)15:30～	成田集会所	1月13日(水)15:30～
船迫集会所	1月12日(火)10:00～	下名生集会所	1月13日(水)10:00～
第27区集会所	1月12日(火)13:00～	中名生集会所	1月13日(水)13:00～
第17B区集会所	1月12日(火)15:30～	剣水集会所	1月13日(水)15:30～
第15区集会所	1月12日(火)10:00～	第18B区集会所	1月13日(水)10:00～
槻木上町集会所	1月12日(火)13:00～	白幡集会所	1月13日(水)15:30～
葛岡集会所	1月12日(火)15:30～	第10区集会所	1月14日(木)10:00～
富沢集会所	1月12日(火)10:00～	西船迫4丁目集会所	1月14日(木)13:00～
上の組集会所	1月12日(火)13:00～	船迫生涯学習センター	1月14日(木)15:30～
人間田中央集会所	1月12日(火)15:30～	第6B区集会所	1月14日(木)10:00～
下町集会所	1月12日(火)10:00～	船岡生涯学習センター	1月14日(木)13:00～
祇園入集会所	1月12日(火)13:00～	新田集会所	1月14日(木)15:30～
第29A区集会所	1月12日(火)15:30～	しばたの郷土館	1月14日(木)10:00～
船岡公民館	1月13日(水)10:00～	西住集会所	1月14日(木)13:00～
中曽根集会所	1月13日(水)13:00～	西住公民館	1月14日(木)15:30～
第4区集会所	1月13日(水)15:30～		

問 総務省 地デジコールセンター

☎ 0570-07-0101 (03-4334-1111 ※ IP 電話など、ナビダイヤルがつかない場合)

みやぎ県南中核病院 からのお知らせ

問 みやぎ県南中核病院 ☎51-5500
<http://www.southmiyagi-mc.jp/>

インフルエンザが疑われた時は

インフルエンザにかかったかな?というときは、かかりつけ医・診療所に、事前に必ず電話連絡のうえ受診してください。医療機関を受診される際は、『うがい・手洗い・咳エチケット・マスク着用』を励行するようにお願いします。

新型インフルエンザワクチン接種について

当院では、当院通院中の1歳から小学校3年生に相当する年齢で基礎疾患を有する方の新型インフルエンザワクチンの優先接種者予約受付(平日13:30～16:00)中です。また、当院で通院中の方で基礎疾患を有する成人の方に外来受診時に優先接種証明書の発行と予約を行っています。今後の接種予定も含め詳細は当院掲示板または病院ホームページに随時公示しますので御参照ください。

みやぎ県南中核病院 感染対策室

「もったいない」は あなたが主演

町民会議
1

平成19年度から「もったいない運動」町民会議を設立し、町民・事業者・行政が一体となって町から出るごみの総排出量1割削減を目指し活動しています。
 昨年は生ごみ削減と紙資源分別徹底をテーマとして話し合いを重ねてきました。

今年の町民会議は…

生ごみ 削減



委員が講師になって、出前講座をします。
見やすくて分かりやすい、チラシを届けます。



町民会議には食品の無駄が出ない調理をしている方や、生ごみをたい肥にしている方など、生ごみを減らす工夫をしている方々がいます。お互いの知識や技術を出し合い会議を重ねてきました。

委員の 声

●生ごみは宝。たい肥にしたものは作物に元気を与えてくれる。安全安心の野菜が出来ている。みんな食べてみて！

●食品は捨てる場所なんてない。調理のときに少し工夫すれば生ごみは減る。まずは濡らさないことが1番。生ごみは濡らさずカラカラにしよう！

紙資源分別徹底



見やすくて分かりやすい、
チラシを届けます。



委員の 声

●紙資源として何を出したらいいか分からない町民の方も多いと思う。細かいものだと思う。町民の立場としては、出しやすくて分かりやすいのが1番。

●日ごろ見ることができない施設の見学はためになった。再生利用で品質のいい紙を作るには、自分たちの分別から気を付けないといけないね。

集積所に出した後の紙資源はどうなるのか？会議を重ねるにつれて疑問が大きくなってきた町民会議では、10月に施設見学【日本製紙(株)岩沼工場・(株)安藤仁七商店】を行いました。

まちかど NEWS



きらびやかな光で
心を温めてくれます

2 つの駅にイルミネーションがきらり NEWS

12月5日に船岡駅前、12日に槻木駅前イルミネーションが点灯され、幻想的なひとときを楽しませてくれました。どちらも実行委員会の皆さんが行なっているもので、すっかり冬の風物詩となりました。駅を利用している通勤通学者だけではなく道行く人や子どもたちにも好評のページェント。お父さんと一緒に見えた女の子は「光の木だね、きれいだね」とニコニコ顔で話していました。



冬の夜空を彩る輝き

仙 南地域で初の受賞

NEWS

第3回食育推進県民大会で柴田町食生活改善推進員連絡協議会がみやぎ食育活動優良実践者として優秀賞を受賞。町長にその報告を行ないました。これまで、しばた食の祭典や汁の実カレンダー製作、小学校での活動に加え、県の食材イベントへの参加や他団体と連携し積極的に食育活動に取り組んでいることが認められました。これからは食育で体も地域も元気に盛り上げてください。



さらに食育の輪(わ)や話(わ)を広げていきます



リズムを合わせて「1・2・3」

親子が心をひとつに

NEWS

11月19日、槻木小学校PTA2学年親子行事が開催されました。「心をひとつに声をあわせて大きな輪をつくろう」をテーマに、フィリピンの代表的な踊りバンブーダンス、クラス対抗大声コンテスト、フォークダンスなどを親子一緒に楽しみました。バンブーダンスの竹は、保護者が山から取ってきた本物の長い竹。児童も保護者も先生も笑顔で歌に合わせてリズムよく踊っていました。

広 告

広 告

ウォーキングで健康生活

NEWS

11月26日、介護予防事業「歩く基本を学ぶ」ウォーキング講習会が開催されました。講師の星健康運動指導士から「肩は力を抜き、リラックスして振り子のように腕を振る」「お腹、背中に力を入れて胴回りをしっかりさせる」などのポイントを教えていただきました。参加者は、ノルディックウォーキングも体験。正しい姿勢を意識しながら気持ちよさそうに歩いていました。



正しい歩き方で健康を手に入れましょう



大きなゴミ袋が、あつという間にいっぱいになりました

地域住民による一斉清掃

NEWS

槻木地区の住民の皆さんや関係団体など約300人が参加した「地域クリーン大作戦」が11月21日に行なわれました。これは、地域のごみ拾いをコミュニケーションづくりにも役立てようと槻木地域づくり推進協議会が企画したものです。この日は、阿武隈川運動場から岩沼市との境までの河川敷を近所の方と話をしながら、ごみを拾い集め、トラック3台分のごみが集まりました。

国へ陳情書を提出

NEWS

11月17日、滝口町長が船岡中学校体育館新築と槻木中学校新築工事を今年度予算で行なえるよう文部科学省担当の広野副幹事長に陳情書を渡しました。そこに偶然、鳩山由紀夫首相がお見えになり話しをすることができました。町長は「突然で驚いたが、首相にも直接事業の前倒しをお願いすることができた」と話していました。なお、陳情が功を奏し、今年度船岡中学校体育館の新築工事が認められました。



左から滝口町長、橋本衆議院議員、広野参議院議員



多くの方の苦勞や努力が積み重ねられた50年

これからも安心安全な水を届けます

NEWS

11月21日、柴田町水道事業50周年記念祝賀会が開催され関係者81人が出席しました。式典では、小泉副町長が「人口の減少など水道事業は厳しい時代ですが、経営をしっかりと検証し、適切な維持管理を行い、この大切な財産を未来の子どもたちに継いでいかなければならない」と誓いました。現在（平成20年）の給水人口は、3万8785人で、普及率は99・8%となっています。

広 告

賑わいのある町を目指して

柴田町観光物産協会会長
長田 達雄さん



昨年11月、柴田町観光協会と太陽の村運営組合が解散して新たに「柴田町観光物産協会」が設立され、会長に就任した長田達雄さんが決意を語ってくれました。

「観光協会は設立してから40年、太陽の村は農村と都市の交流拠点の施設として32年が経過しました。近年の多様化したニーズに応えるためには、これまでの行政主導から民間主導の組織化を図り、自由な裁量で地域に根ざした施策を講ずることを地域の皆さんが求めているのではないかと思います。船岡城址公園は歴史を生かし、花咲山の構想で整備し四季折々に人々が集まるように。太陽の村は、食と農の拠点として農産物、加工品などの集約と商品の開発をしたいと考えています。また、年間を通した賑わいのある道の駅的な施策もしかるべき所に展開できればいいですね」

柴田町菊の会副会長として菊花展の開催にも携わっている長田さん。「行政主導から官民協働の推進体制に切り替え、菊栽培愛好者による実行委員会主催で開催してから3年が経過しました。素人集団ですが、地域の皆さんの支援声援により伝統ある菊花展を続けることができました。感謝に堪えません」地域の活性化のため一層の活躍を期待しています。

こうほう 文芸云

川柳

卵かけ御飯が今は見直され

四日市場 郷土 山櫻

紅葉の名所に人の長い列

四日市場 曳地 真翔

日溜りの雪見障子が母の部屋

上名生 西村 久子

山々に錦おりなす紅葉映え

船岡 富山当茂子

着膨れも冬支度です八十路坂

船岡 萩原 善助

幾星霜男と女の知恵くらべ

船岡 島貫よし雄

老いて尚離さぬ姑の割烹着

船岡 鈴木 智子

霜降っていいよいよ無口な村となり

船岡 小野寺せつ子

家庭での妻の願いは家事仕方

槻木 大宮 二郎

地球から無駄を切りすてエコ資源

船岡 伊藤タイ子

短歌

一年の門神々も日雇も

船岡 大槻 信吉

日和めでたし平なりけり

船岡 杉木立ちのあはひに響かう

船岡 柄目けい子

ほだ木伐る音里山の柚子の実鮮やか

船岡 冨田 順子

冴え返るきらめく星座仰ぐ時

船岡 冴田 順子

告 告

告 告



夢空間 2010

smile kids



高橋 寧々ちゃん (3歳)
(東船迫)

ひとこと 茶目つけたつぶりのネネちゃん。いつまでも私たちにその笑顔を見せてくださいネ。
(父：文昭さん 母：真弓さん)

ひとこと

妹を守る強くてやさしい
“にいに達” になってね。
(母：文子さん)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。



花ちゃん (ペンネーム)

smile kids



右から 上 関 音 琶ちゃん (4歳)
音 結ちゃん (1ヶ月)
咲 音ちゃん (3歳)
(梶木西)

こども美術館



「かもにさらわれた
ごんべいさん」

東船岡小学校 3年
な お と
大草直音さん



「夕焼けの中で」

東船岡小学校 5年
り な
伊藤理南さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とてもすきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2010)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで1月14日(木)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり推進課 ☎55-2278

広 告

広 告

ワン・ステップ One Step

まちの図書館づくり Vol.4

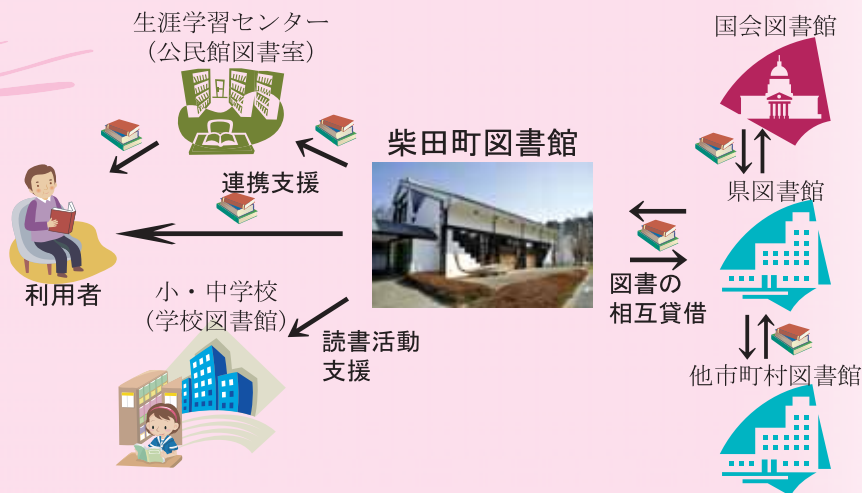
平成22年度のオープンを目指し、柴田町初の図書館設置に向けた準備作業がスタートしています。まさしく第一歩(ワンステップ)。準備作業は教育委員会生涯学習課職員のみならず、住民有志のボランティアの皆さまとの協働で準備作業を進めていきます。

このページでは、図書館立ち上げに向けた取り組みを情報発信していきます。



図書館設置で広がる 図書のネットワーク網

図書館では、住民の求める資料(図書)を確実に提供するため、自館にない場合は自治体の枠を超え、宮城県図書館のほか、他市町村図書館、国立国会図書館など他の図書館と連携・協力する「図書の相互貸借制度」が確立されています。



★柴田町図書館 重点取り組み事項★

さまざまな疑問に答えるレファレンス機能の充実

読書案内やレファレンスサービス(調べもの相談)を通じて、暮らしの中での疑問に答え、学習や仕事をする上で必要となる資料や情報を適切に提供できる図書館として整備します。

子どもの読書の推進

子どもたちが読書の楽しさを知り、自ら考え学ぶことができるように、子どもの読書活動の手助けができる図書館として整備します。また、学校や保育所、幼稚園等の施設と連携し子どもの読書環境の整備を推進します。

情報発信のできるシステムと体制の強化

インターネットを中心とする新しい情報技術に対応し、住民に幅広い情報を発信できる図書館として整備します。また、行政サービスが効果的に提供されるよう、町行政の各部署に情報支援する図書館として整備します。

未来の柴田のまちづくりを支援

未来の柴田のまちづくりに役立つ郷土資料や行政資料等の地域資料を収集・保存し、住民が主体となったまちづくりを考える上で必要な情報を提供できる図書館として整備します。

住民との協働(パートナーシップ)を推進

来館が困難な高齢者や障がい者に対する読書支援活動や、子どもの読書活動の推進をボランティア等と協働して展開します。また、ボランティアの養成や活動の場などの情報提供を行うなど、住民とのパートナーシップを重視し、住民とともに成長する図書館として整備します。

ありがとう

図書の寄贈

11,730冊

(H21.12.16現在)

引き続き、図書の寄贈お待ちしております

～ぜひ寄贈していただきたい種類の図書です～

- ★エッセイ ★小説 ★人生論 ★児童書(絵本、クイズ本、なぞなぞの本、ゲーム本など) ★日曜大工の ★裁縫の本
- ★着付けの本 ★手芸の本 ★料理の本 ★旅行の本★住宅・インテリアの本 ★園芸・ガーデニングの本
- ★各種スポーツに関する本 ★手紙・あいさつ・スピーチの本 など

■あて先(問合せ先)
〒989-1692 柴田町船岡中央2丁目3-45
柴田町教育委員会 生涯学習課
TEL55-2135 FAX55-2132
Eメール:social-edu@town.shibata.miyagi.jp

人口と 世帯数



38,743 人
(前月比9人増)



19,315 人
(前月比5人増)



19,428 人
(前月比4人増)



14,529 世帯 (平成21年12月1日現在)
(前月比7世帯減)